

令和4年度 第6回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和4年8月24日（水） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 新「岐阜市プロモーション大使」の委嘱について

市長公室 広報広聴課

(2) 日光事務所における福祉機能の拡充について

市民生活部 市民生活政策課

(3) 令和4年度自動運転実証実験について

都市建設部 交通政策課

(4) 災害から命を守るための行動について

都市防災部 都市防災政策課

1-(1) 新「岐阜市プロモーション大使」の委嘱について

1. 岐阜市プロモーション大使の概要

(1) プロモーション大使とは

- ・大使の活動を通じて**本市全体**の**魅力**を広く**発信**し、
本市のイメージアップ、交流人口・定住人口の増加、シビックプライドの醸成を図ることを目的に設置。

(2) 大使の条件

- ・メディアへの**露出度**が高く、**県外**に向けた**情報発信力**がある方
- ・本市が**実施するプロモーション活動**に、**積極的に参加**できる方

(3) 現在の大使

- ・**2019（R1）年10月**に大使を委嘱（**1人目**）
岐阜市出身でボーイズグループ **MAG!C☆PRINCE**（マジックプリンス）所属
永田 薫（ながた かおる）氏（25歳）

2. 新大使の委嘱

鷺見 玲奈（すみ れいな）氏（32歳）

- ⇒・**岐阜市出身**（岐阜北高等学校→首都大学東京 ※現、東京都立大学→テレビ東京）
- ・現在は、**フリーアナウンサー**として活躍中

新プロモーション大使 プロフィール



© cent. Force CO.,LTD All Rights Reserved.

氏名：鷺見 玲奈（すみ れいな）
年齢：32 歳
出身：岐阜市
職業：フリーアナウンサー

所属事務所：セント・フォース

経歴：岐阜北高等学校卒

首都大学東京（現東京都立大学）教養学部都市教養学科卒

テレビ東京 アナウンサー（2013. 4～2020. 3）

現在、フリーアナウンサーとして活躍中

特技：詩吟

出演：ズームイン!!サタデー（日本テレビ）

炎の体育会TV（TBS）

ドーナツトーク（CBC）

チャント! 発見! お酌活ライフ（CBC）

1 - (2) 日光事務所における福祉機能の拡充について

1 目的

本市では、
地域住民サービスの一層の向上を図るため、
順次、市内事務所の**福祉機能を拡充**。

2 日光事務所の福祉機能拡充

平成 30 年度の南部東事務所からスタートし、
今年度は、**日光事務所**において機能を拡充。

9月1日（木）から、従来の戸籍などの事務 80 項目に加え、
福祉や保健に関する事務 45 項目の取扱いを新たに開始し、
計 125 項目の事務を取扱う。

○事務所における機能拡充

事務所	時期
南部東事務所	平成 30 年 9 月
西部事務所	令和元年 9 月
東部事務所	令和 2 年 9 月
北部事務所	令和 3 年 9 月
日光事務所	令和 4 年 9 月（今回）
南部西事務所	令和 5 年 9 月予定

柳津地域事務所では、
福祉事務所柳津分室において、
福祉に関する事務を取扱っている。

○取扱い事務

①従来の取扱い事務（80 項目）

- ・戸籍、住民基本台帳、印鑑登録関係
- ・国民健康保険加入手続き
- ・税関係証明書発行 など

②新たな取扱い事務（45 項目）

- ・身体障害者手帳の交付申請
- ・障害福祉サービス利用申請
- ・福祉医療費受給者証の交付申請
- ・児童扶養手当の認定請求・証書発行
- ・予防接種券（子ども）の発行 など

昨年度、機能を拡充した北部事務所において、
福祉に関する相談に対応する

「福祉窓口アテンダント」を新たに配置。

今般（9月1日付）、日光事務所をはじめ、

他の事務所（南部東、西部、東部）においても**選任**。

○市長現地視察及び「福祉窓口アテンダント」任命

日時：令和 4 年 9 月 1 日（木） 8 時 20 分

場所：日光事務所（岐阜市日光町 9-1-3） ☎（058） 232-1480

3 拡充の成果とさらなる取組み

これまでに福祉機能を拡充した事務所では、**年々、福祉手続きの取扱い件数が増加。**

全ての事務所で、待合スペースの拡張や車椅子に対応した窓口カウンター設置などの**リノベーション**を進め、今年度は、照明の**LED化**を図っている。

来月1日(9/1)からは、**すべての事務所**において、住民票などの証明書手数料の支払いに利用できる、**キャッシュレス決済を導入。**



日光事務所窓口カウンター（リノベーション完了）

1- (3) 令和4年度自動運転実証実験について

はじめに

- ・本市ではこれまで、**持続可能な公共交通ネットワークの構築**を目指し、公共交通への**自動運転技術の導入**に向けて積極的に取り組んでいる
- ・昨年度は、「**中心市街地の幹線道路**」において、**県内で初となるハンドルやアクセル、ブレーキペダルがない自動運転バス**による走行実験を行った
- ・今年度は、昨年度の検証結果や、体験乗車された市民の皆様からいただいたご意見などを踏まえ、自動運転技術の**実装**に向けた実証実験を行う

令和4年度実験の概要

実験車両 : 昨年度に引き続き運転席がない**小型バス**タイプの電気自動車「アルマ」

走行ルート : 昨年度も走行した市役所から岐阜駅を結ぶ**中心市街地を周遊する中心部ルート**に、**岐阜公園や川原町界隈などの観光地を周遊する岐阜公園ルート**を加えた**2つのルート**

- ・川原町や御鯨街道などの**歩行者と車両が混在**する空間において、自動運転バスが**安全に走行**できるかを検証する
- ・交差点の右折時の安全を判断するため**道路上に設置したカメラと実験車両との通信による対向車の検知**など、新たな技術の検証も行う

実験期間 : 10月22日(土)から11月20日(日)までの約1カ月間

体験乗車 : 実験期間中、自動運転バスに**体験乗車**される皆様に募集

- ・募集期間は**9月1日(木)から26日(月)**の必着
- ・参加費は**無料**で、募集定員は、昨年度の**約300人**から大幅に拡大し**約1,000人**を募集
- ・**アンケート**や**顔認証登録**にご協力いただく
- ・募集の詳細は、**広報ぎふ9月1日号**やホームページなどにも掲載



自動運転車両「アルマ」



走行ルート

■公共交通フェスタ 2022

開催日: 10月22日(土)、23日(日)の2日間

開催場所: ぎふメディアコスモスとみんなの広場カオカオ

内容: バスやタクシーなどの**公共交通車両**をはじめ、パトカーや白バイなどの**はたらくくるまの展示**のほか、様々な催しを予定

1- (4) 災害から命を守るための行動について

1 最近（近年）の災害発生状況

○ 全国

- ・令和4年8月 大雨特別警報

山形県、新潟県

※人的被害 死者1名、行方不明者2名、負傷者9名、住家被害5,719棟 (8/19 9:30 現在)

○ 県内

- ・令和3年8月豪雨 17市町村に土砂災害警戒情報発表

※人的被害 軽症者1名、住家被害118棟

- ・令和2年7月豪雨 6市に大雨特別警報、20市町村に土砂災害警戒情報発表

記録的短時間大雨情報発表 1地点

※人的被害 重傷者1名、軽症者1名、住家被害459棟

⇒ 「記録的短時間大雨情報」の発表や、線状降水帯の発生により、
これまでに経験したことのない大雨 など、災害の激甚化が進んでいる。

2 災害から命を守るための行動

- ・災害から命を守るためには、災害リスクを「知る」「気づく」「考える」ことが大変重要。
- ・岐阜市では、地震、台風、大雨、土砂災害などのリスクを知り、気づき、考えるために、防災に関する冊子の発行やアプリを配信。

(1) 「岐阜市総合防災安心読本」

- ・令和3年12月に「岐阜市総合防災安心読本」を改訂し、市内全世帯、全事業所に配布。

⇒ 近年、台風や大雨により被害拡大の要因の一つとして、「逃げ遅れ」がある。

洪水に備える避難行動の基本は、

洪水リスクが高まる前に安全な場所に避難することであり、

自身の洪水リスクを認識し、自らの判断で**早め早めの避難行動**をとることが**重要**。

■コミュニティバスを利用して避難（帰宅時も含む）した場合の運賃無料をスタート（R4.5月～）

※避難時：「高齢者等避難」発令時から「避難指示」発令時まで

※帰宅利用時：全ての避難情報が解除されてからその日の運行終了時まで（解除がその日の運行終了時は翌日まで）

(2) 「防災サポート」マイ・タイムラインアプリ

- ・台風の接近や、大雨が予想される時の
防災行動計画を時系列的に整理し登録しておくことで、
リマインド機能によるお知らせや、
市からの避難情報をポップアップ通知するもので、**適切な避難行動を支援する**アプリ。
- ・マイ・タイムライン作成の3ステップは、
 - ・第1に、「自分たちの住んでいる地区の災害リスクを知る」こと
 - ▶ 過去の洪水、地形の特徴、ハザードマップで水害リスクを知る
 - ・第2に、「避難への備えやタイミング」、「避難場所の選定や逃げ方」に気づくこと
 - ▶ 洪水時に得られる情報と、防災行動を時間軸で考える重要性を学ぶ
 - ・第3に、自分自身の「マイ・タイムライン」を考えること
 - ▶ 洪水時の具体的な行動をシミュレーションし、プランをたてる

(3) 家庭でできる防災対策

- ・いつ起きるかわからない災害のため、在宅避難に備えた備蓄の準備も重要。

日常備蓄という考え方（ローリングストック）

日ごろから使っている食料品・生活必需品を少し多めに購入し、災害時に備える。
古いものから使っていき、使った分だけ買い足す。

- ・常温で保存可能なもの
- ・家族が3日間（できれば1週間）生き延びるための最低限の食料・飲料水や日用品

■ 防災アプリのダウンロード

